

全收配付用(3月18日予定)



白もくれんの並木



再生プロジェクト



第11回ユネスコスクール SDGsプロジェクト

岡崎市立城南小学校 since2020.4～

(城南学区総代会・社教委員会・城南小PTA)

エネスコスツール
SDGs プロジェクト

主催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
協力 MUFG 株式会社三菱UFJ銀行

白もくれん再生プロジェクトの歩み



令和元年度

- 1月 エネスコスクールSDGsアシストプロジェクトに応募
- 3月 エネスコスクールSDGsアシストプロジェクト 助成決定 (全国で5校)

令和2年度

- 5月 校内の白もくれん並木の状況調査を開始する
- 6月 緑の教室・樹木医の授業 実施
- 7月 大雨により枯れていた白もくれん (11番の木) が倒れる
- 9月 「地域の方のお話を聞いてみよう」
- 学区総代会長 殿井潔香様 登下校安全部長 水谷万里子様
- 10月 城南カーニバルでここまでの活動を発信しよう
- 12月 枯れてしまう木にも手当をしたい
- 3月 「つなげ 白もくれんプロジェクト」 始動
- 第1回白もくれん植樹の会「ふるさと」



後輩にも、この活動を
引き継いでほしい



卒業生から受け継いだ
白もくれんを大切に
していきたい

令和3年度

- 6月 白もくれんの生態、弱っている原因を探る
- 8月 令和2年度に植樹した白もくれんが暑さにより枯れてしまう
- 9月 台風により枯れていた白もくれん (14番の木) が倒れる
- 「白もくれんに思いを寄せる方のお話を聞いてみよう」
- 登下校安全部長 水谷万里子様 並木に寄せる思い
- 空間デザイナー 丹羽康文様 白もくれん並木の歴史
- 学区の人は白もくれんの並木をどう思っているのだろう
- 10月 地域の方への白もくれんに関するアンケート調査実施



白もくれんは、僕たちだけじゃなく、学区に人たちにとっても大切な木
いろいろな人が思いを寄せているから、大切に保護していいこう

城南 CITY カーニバルでここまでの学びを発信しよう

- 11月 白もくれんが少しでも元気になるように、

枯れてしまったハクモクレンをサツツにして腐葉土を作る

- 12月 つばみがだんだんふくらんでくる

- 2月 枯れてしまった白もくれんを植え直す

- 3月 第2回白もくれん植樹の会「ふるさと」



下級生や保護者、地域の人にも
っと白もくれんのことを
知ってもらいたい

いつか、満開のこの並木の下で、みんなと再会したいね



木直樹の会 パンフレット
令和2年度

2021. 3. 9



白もくれんの並木再生プロジェクト 植樹の会「ふるさと」 Vol 1



ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト

岡崎市立城南小学校 since2020.4～
(城南学区総代会・社教委員会・城南小PTA)

「ふるさと」のめあて

白もくれんの並木の保護活動を通して学んできた、自然の命の尊さ、気候変動の影響、地域遺産を守っていくことの大切さなどについて発信をし、これまで協力をしてくださった方々に感謝を伝えよう。

白もくれんの並木を大切に思っている方々や下級生と共に、新木を植樹することで「ふるさと城南」への思いと絆を深め、これからも力を合わせて並木の再生に取り組んでいく気持ちを確かめ合おう。

式 次 第

はじめのことば

学校長あいさつ

城南小学校長 高 鋤 利 行

活動を振り返って

6 年生 「ふるさと」実行委員

学区代表あいさつ

学区総代会長 殿井 潔 香 様

来賓紹介

学校評議員様

P T A 役員様 6 年学年委員長

講師紹介

金原造園 金原 清二 様

植樹セレモニー

植樹

実行委員 代表の言葉

6 年生代表 岡部 花暢

5 年生誓いの言葉

5 年生代表 井上 遼哉

終わりの言葉

記念撮影



活動報告



令和元年度

1月

エネスコスクールSDGsアシストプロジェクトに応募

3月

ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト 助成決定 (全国で5校)

令和2年度

5月

校内の白もくれん並木の状況調査開始

活動計画 立案

6月

緑の教室・樹木医の授業 実施

白もくれんが枯れた原因を探る

樹木が元気に成長するためにはどんなことが必要かを学ぶ

白もくれんの観察と手当てに取り組み始める

金原造園 金原清二様のご指導による

7月

大雨により枯れていた白もくれん (11番の木) が倒れる

「枯れている白もくれんをどうするべきか」話し合う

9月

「地域の方のお話を聞いてみよう」

学区総代会長 殿井 潔香様

登下校安全部長 水谷 萬里子様

白もくれん並木の歴史 並木に寄せる思い

学区の人は枯れてしまった並木をどう思っているのだろうか



枯れそうな木でも、まだ、つぼみがある。どうしたらよいのだろう。

白もくれんは、簡単に切っていい木ではない。学区に人たちにとって大切な木。

私たちが、大切に保護していかなくちゃいけない並木なんだ。

10月

城南カーニバルでここまでの活動を発信しよう

下級生や、保護者、地域の人に

もっと白もくれんのことをしてもらいたい

つぼみがだんだん膨らんできた。

12月

枯れてしまう木にも手当てしてほしい。

後輩にも、この活動を引き継いでほしい。

「つなげ白もくれんプロジェクト」始動

完全に枯れてしまっている木を伐採

2月

3月6日 開花

植樹の会



いつか、満開のこの並木の下で、みんなと再会したいね。



白もくれんの並木への思い

私はこの一年間で白もくれんについて、たくさん勉強しました。初めて木を見たとき、すごく傷んでいて、正直、助からないんじゃないかと思っていました。でも金原さんに手当ての方法をたくさん教えてもらって、どんどんよくなっていくのが分かりました。すごくうれしかったです。これから先、この活動が5年後、10年後も続いていてほしいです。そして、いつか、城南小で美しい白もくれん並木を見たいです。(江木あさみ)



「心が洗われます」「白もくれん並木がまた見たいです」学区の殿井さん、水谷さんに、この話を聞いたとき、感動しました。学区の人にとっても、白もくれんは宝物であることに気づきました。そして、並木を復活させるためにがんばりたいと思いました。今年は白もくれんにたくさんのおぼみがついていて、とてもうれしいです。

(堂崎 大徳)



金原造園のみなさんにいろいろなことを教えてもらいました。金原さんは、すごく木のことを考えていて、どの木もていねいに手当てをします。木の命を大切にすると、金原さんのような姿を言うのだと感じました。白もくれんの尊い命を、これから先の後輩にも大切にしていってほしいです。(矢野 夢)



「ふるさと」 実行委員

上田歩侑 加藤飛向 吹谷昌弘 木谷成利 中家凜鷹 鳥田歩希

井本聖愛 白濱咲良 岡部花暢 川澄日菜理 杉田莉々愛

竹之下乃愛 中村心実 本田彩奈 吉田 柊

植樹の会 パート
令和3年度(3/4)

2022. 3. 9



白もくれんの並木再生プロジェクト 植樹の会「ふるさと」 Vol 2



第11回ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト 助成

岡崎市立城南小学校 since2020.4～
(城南学区総代会・社教委員会・城南小PTA)

「ふるさと」のめあて

白もくれんの並木の保護活動を通して学んできた、自然の命の尊さ、気候変動の影響、地域遺産を守っていくことの大切さなどについて発信をし、これまで協力をしてくださった方々に感謝を伝えよう。

白もくれんの並木を大切に思っている方々や下級生と共に、新木を植樹することで「ふるさと城南」への思いと絆を深め、これから力を合わせて並木の再生に取り組んでいく気持ちを確かめ合おう。

式 次 第

はじめのことば
学校長あいさつ

城南小学校長 高 欽 利行
活動を振り返って

6年生 「ふるさと」実行委員
学区代表あいさつ

学区総代会長 古林 哲夫 様
来賓紹介

学校評議員様
PTA役員様 6年学年委員様
講師紹介

金 原 造 園 金 原 修 和 様
植樹セレモニー
植樹

実行委員 代表の言葉

6年生代表 矢田 瑠海
5年生 誓いの言葉

5年生代表 杉田 愛翔

おわりの言葉
記念撮影



活動 報告



令和元年度

- 1月 ユネスコスクールSDGsアリストプロジェクトに応募
3月 ユネスコスクールSDGsアリストプロジェクト 助成決定 (全国で5校)

令和2年度

- 5月 校内の白もくれん並木の状況調査を開始する
6月 緑の教室・樹木医の授業 実施
7月 大雨により枯れていた白もくれん (11番の木) が倒れる
9月 「地域の方のお話を聞いてみよう」
学区総代会長 殿井潔香様 登下校安全部長 水谷萬里子様
10月 城南カーニバルでこれまでの活動を発信しよう
12月 枯れてしまう木にも手当をしたい
「つなげ 白もくれんプロジェクト」 始動
3月 第1回白もくれん植樹の会「ふるさと」

後輩にも、この活動を
引き継いでほしい



卒業生から受け継いだ
白もくれんを大切に
していきたい

令和3年度

- 6月 白もくれんの生態、弱っている原因を探る
8月 令和2年度に植樹した白もくれんが暑さにより枯れてしま
9月 台風により枯れていた白もくれん (14番の木) が倒れる
「白もくれんに思いを寄せる方のお話を聞いてみよう」
登下校安全部長 水谷萬里子様 並木に寄せる思い
空間デザイナー 丹羽康文様 白もくれん並木の歴史
学区の人は白もくれんの並木をどう思っているのだろう
10月 地域の方への白もくれんに関するアンケート調査実施



白もくれんは、ぼくたちだけじゃなく、学区に人たちにとっても大切な木
いろいろな人が思いを寄せているから、大切に保護していこう

城南 CITY カーニバルでこれまでの学びを発信しよう

- 11月 白もくれんが少しでも元気になるように、
枯れてしまったハクモクレンをサツプにして腐葉土を作る
12月 つぼみがだんだんふくらんでくる
2月 枯れてしまった白もくれんを植え直す
3月 第2回白もくれん植樹の会「ふるさと」



下級生や保護者、
地域の人にもっと
白もくれんのことを
知ってもらいたい

いつか、満開のこの並木の下で、みんなと再会したいね



白もくれんの並木への思い

私は、一年間という短い間だったけれど、白もくれんについてたくさん勉強しました。5年生の終わりがころ、初めて木を見た時、幹が細く、枝も短くて「本当に元気がないんだな」と思ってた悲しくなりました。6年生になって、本格的に調べるにつれて、だんだんと白もくれんのことを好きになっていく自分に気がきました。10年後も、20年後もきれいな白い花を咲かせてほしいと思います。

(矢田 瑠海)



地域の方に白もくれんについて思いを聞き、「心のいやし」になっていることを知りました。また、そんな白もくれんが枯れてしまっても「悲しい」という言葉を聞き、本当にみなさん大切に思われていると実感しました。地域や城南つ子に愛され続ける白もくれんを今まで以上に大切にしたい、きれいな白もくれんが満開になった姿をいつか見たいです。

(柴田 朋美)



私はこの一年間で、学区のみなさんにとって白もくれんがとても大切な存在なんだと知ることができました。金原造園の方は、一本ずつ丁寧に手当てをしてくれました。水谷さんも白もくれんは、城南小学校のシンボルだと思ってくださっています。私たちは卒業してしまうけれど、後輩たちにその思いをたくし、元気になっていく白もくれんの姿をそばで見守っていきたいです。

(川澄 桃子)



川澄 桃子

柴田 朋美

市橋 暖士

矢田 瑠海

園田 幸一郎

山口 颯大

間瀬 玲奈

足立 椿姫

佐久間 美帆

稲垣 桜香

山本 健琉

鶴見 來人



ジョナ

No.85

ステキ！城南 今年の活動

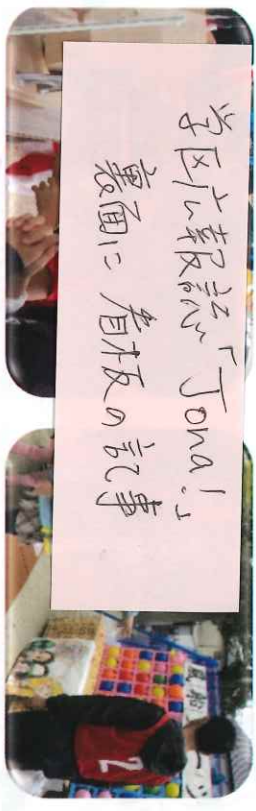
小春日和の中、城南学区としての初のウオーラリーを開催いたしました。

集籠りの期間を払拭するように800人を超える方に参加して頂く大盛況となり、早い時間に用意をしていた景品が足りなくなるといったハプニングが各チエックポイントで起こり、スタッフは大慌てで対応に追われました。ただ、子供たちからは待ちわびたイベント、初めてのウオーラリー、福引きということでキラキラとした好奇心あふれる顔が多数みられ、運営側にとっては多くの力をもらったような気がし、素晴らしい1日となりました。

今後も皆さんが楽しんでウオーラリーして頂けるような行事を計画していきますので、社会教育委員会へのご理解、ご協力をお願いします。

本部長 市川善規

笑顔いっぱい！ 学区ウオーラリー



学区広報誌「Jona!」
裏面に看板の記事

コロナでイベント
があまりできなかった中、
ウオーラリーができました。
いろいろなゲームはどれも
楽しく、ひさしぶりの
イベントでうれしかったです。
学区のみなさん、ありが
とうございました。

城南小3年 石川柚季



最初に行った
中村公園の千本引きで一等
を引き、ビックリしたよ。
ゴールのくじは、僕たちの
次の人から当たったよ。僕たちの
みんなが笑ったよ。ポイント
も全部まわって楽しかった。
またやりたいと思いました。

城南小3年 杉山喜一

社教委員長からのひとこと

「ヤル気と工夫」



本年度は、コロナワクチン接種に、ウイスコロナ時代の終幕を皆様と共に期待し切望したスタートとなりました。変異したデルタ株の最悪のまん延拡大により4月から10月に予定していた社教行事は、「学区運動会・学区防災訓練・学区夕涼み会」など、殆どの行事が2年連続の中止や延期を余儀なくされましたが、ワクチン接種も進み、感染者数も激減した11月に、学区夕涼み会の代替案として育んでいた学区ウオーラリーを防災訓練と合同開催する事となりました。

これが、主催者側の「ヤル気」と参加者側の「期待感」が相まって、大盛況となりました。各チエックポイントでのイベントに参加した方は、学校グラウンドでの防災訓練を経て、お目当ての空くじなし豪華景品が当たる抽選会へと誘導され、「特賞大型テレビやゲーム機、今晚の食卓に上がるであろう和牛セット」など、引当てた景品は遣えども家族で満足げに帰宅される方々のお姿に、コロナ禍においても「ヤル気と工夫」で乗り切れる、そんな気持ちになりました。積極的にご参加いただきました学区の皆様、各方面で、ご尽力いただきました社教役員・委員様はじめ関係部会の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和3年度 社教委員長 村松 康春

白もくれんの並木 再生プロジェクト2



「城南小は白もくれんの学校」その言葉が、昨年3月蘇りました。昨年の6年生が白もくれんへの願いをかけて、少しでも木に元気になってほしいと樹木医さんたちから学習して、防虫用のわらをつけたり、肥料をまいたりしました。令和3年3月9日には、『植樹の会「ふるさと」』を開催し、今の6年生にその意思は受け継がれています。10月のカーニバルでは、6年生みんなでテーマ「命を引き継ぎ未来へつなげ」として、学習した内容を保護者や城南っ子へ伝えました。白もくれんについて肥料づくりや願いの花などICTを有効に使い工夫していました。

今、白もくれんは昨年度以上につぼみを多く、そして大きく膨らませています。引き継がれた白もくれんが、いつどのように咲くか楽しみにしててください。

ぼくたち6年生は、地域の人にアンケートをとり、地域の人たちの思いを知ることができました。人々の期待の思いに添えて、これからも元気に育ってほしいと思っています。

6年 梶川将南

My Home town

上和田住宅編

上和田団地が誕生して、約48年。世帯数は当時660世帯ありました。現在は約250世帯。8年前から建替えが始まり、新棟A・B・C棟が建ち、新棟への入居を終えました。しかし、まだ旧棟には約85世帯の方が入居中となり、令和4年度から新たに2棟が建設予定です。後4年ほどで、現在旧棟に住んでいる住人の皆様が入居できるようになると思います。旧棟にお住いの皆さまが新棟への入居が終わりますと、外部からの入居が始まります。ただ、それまでは小学生が1人もいないことになるため悲しく思います。



上和田団地総代 長南良明

ほっとコーナー♪

ホッとする楽しい写真募集中！



変身☆ブイが
素敵な生き物に！
学校の来賓玄関でお出迎え♪
～磯谷さん制作です～
(P.N 城南大好き)

春はチューリップ♪

チューリップの素敵な並びを見て、春が待ち遠しくなりました！

(P.N 花花花)



来たるべき

食糧危機に向け、
農作業特訓中です！！
(P.N ヒロユキ)



城南学区この1年

◆令和3年	
4月10日	社会教育委員会総会
9月18日 ～20日	学区敬老者へのお祝い配付
11月21日	学区ウオーラリー 防災イベント同時開催
12月19日	地域防災訓練（岡崎小にて）
12月25日	冬季学区ふれあいバトロール
◆令和4年	
1月1日	新年歩け歩け大会
3月1日	広報誌「ジヨナリ」85号発行
※5月22日(土)予定の「学区ふれあい大運動会」、8月21日(土)予定の「学区夕涼み会」、9月18日(土)学区敬老会、1月22日(土)学区文化展など、昨年度同様多くの行事が中止になりました。	

編集後記

完全リニューアルのJonal最新号となります。
新ロゴマークに学校の白もくれんをあしらってみました。(K)

全枚画紙付用 (3月18日予定)

クリアール原稿



白もくれんの並木



再生プロジェクト



第11回ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト

岡崎市立城南小学校 since2020.4～

(城南学区総代会・社教委員会・城南小PTA)

ユネスコスクール
SDGsアシストプロジェクト

主催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
協力 MUFG 株式会社 三菱UFJ銀行

白もくれん再生プロジェクトの歩み



令和元年度

- 1月 エネスコンスクール SDGs アシストプロジェクトに応募
- 3月 エネスコンスクール SDGs アシストプロジェクト 助成決定 (全国で5校)

令和2年度

- 5月 校内の白もくれん並木の状況調査を開始する
- 6月 緑の教室・樹木医の授業 実施
- 7月 大雨により枯れていた白もくれん (11 番の木) が倒れる
- 9月 「地域の方のお話を聞いてみよう」
- 学区総代会長 殿井潔香様 登下校安全部長 水谷万里子様
- 10月 城南カーニバルでこれまでの活動を発信しよう
- 12月 枯れてしまう木にも手当をしたい
- 3月 「つなげ 白もくれんプロジェクト」 始動
- 第1回白もくれん植樹の会「ふるさと」



後輩にも、この活動を
引き継いでほしい



卒業生から受け継いだ
白もくれんを大切に
していきたい

令和3年度

- 6月 白もくれんの生態、弱っている原因を探る
- 8月 令和2年度に植樹した白もくれんが暑さにより枯れてしまう
- 9月 台風により枯れていた白もくれん (14 番の木) が倒れる
- 「白もくれんに思いを寄せる方のお話を聞いてみよう」
- 登下校安全部長 水谷万里子様 並木に寄せる思い
- 空間デザイナー 丹羽康文様 白もくれん並木の歴史
- 学区の人は白もくれんの並木をどう思っているのだろう
- 10月 地域の方への白もくれんに関するアンケート調査実施



白もくれんは、僕たちだけじゃなく、学区に人たちにとっても大切な木
いろいろな人が思いを寄せているから、大切に保護していいこう

城南 CITY カーニバルでこれまでの学びを発信しよう

- 11月 白もくれんが少しでも元気になるように、

枯れてしまったハクモクレンをチップにして腐葉土を作る

- 12月 つばみがだんだんふくらんでくる

- 2月 枯れてしまった白もくれんを植え直す

- 3月 第2回白もくれん植樹の会「ふるさと」



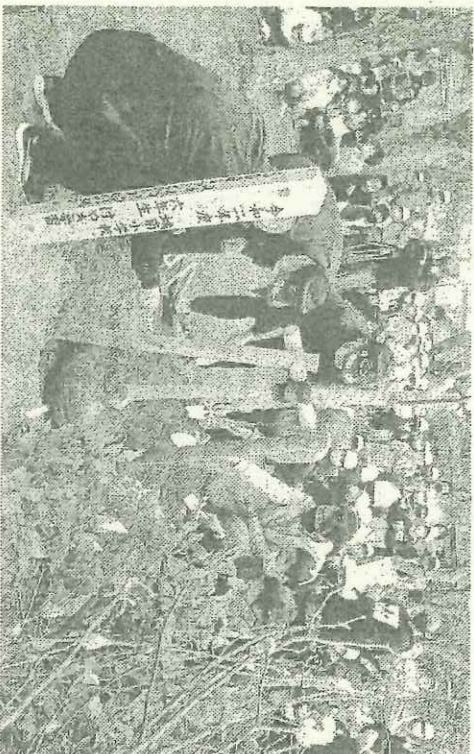
下級生や保護者、地域の人にもっと白もくれんのことを
知ってもらいたい

いつか、満開のこの並木の下で、みんなと再会したいね



2021年 (令和3年) 3月10日 (水曜日)

再生への1歩



一緒に植樹する児童や学区住民ら＝岡崎市城南小学校で

岡崎市 城南小 ハクモクレン並木再整備

岡崎市中心部の城南小学校の六年生約七十人が、
同校のシンボルで校内にあるハクモクレン
の並木の再生に取り組んでいる。九日には
新しいハクモクレンの苗木七本を植樹。卒業
間近の六年生が礎を築いてきた「再生フ
ロジェクト」は、四月に進級する現在の五
年生約七十人が受け継ぐ。
(今井亮)

同校には三十年以上
前の開校十周年を記念
会社の関係者から傷ん
だハクモクレンの「手
当てる」を学んだりと
「最初の一本」の根本
には児童と関係者が一
緒に土を盛った。この

が、「エネコスクリ
ル」に登録している学
校のSDGs (持続可
能な開発目標) に沿っ
た活動を助成する「S
DGs アシストプロジ
ェクト」の助成金と学
区住民の支援で調運。
今後は新たな苗木を毎
年一本ずつ植樹する。
この日は、お世話をし
て地面に穴を掘った
後、児童は手分けをし
り、倒木を防ぐために
芝を木に固定したりし
て残りの苗木を植樹し
た。

東海愛知新聞
令和3年3月10日 (水)